

シェムリアップ MoiMoiライフ

ISSUE
69

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



小出陽子 (Yoko KOIDE)
一級建築士。2000年、UNESCO 遺跡保存オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年シェムリアップにレストラン「Cafe Moi Moi」をオープンする。現在は、建築設計とレストラン経営のかたわら、JST (NGO、アンコール遺跡の保全と周辺地域の持続的発展のための人材養成支援機構) を運営し、農村地域の支援活動を行っている。
JSTホームページ <http://www.jst-cambodia.net>

MoiMoi Life in Siem Reap Passing on the torch

Many happy responses were received since our junior high school was established last October. Many Cambodians have volunteered to offer us assistance in administering the school. People are donating their time and funds from all walks of life, including some influential people in the government. The fact that an ordinary Cambodian donated land and succeeded in gathering funding to establish a junior high school, which will be administered in a unique manner, has captured the hearts of people who are concerned about the future of Cambodia.

I have been working with youths in rural areas to establish infrastructure, education and training and as almost ten years have passed since the founding of our NGO, I believe that it is essential to get Cambodian youths involved in carving out their future.

未来へのバトン

昨年10月、アンコール・トムの北西の村に、カンボジア人である夫とともに「バイヨン中学校」を創設したことによって、予想外のうれしい声が寄せられるようになりました。同世代のカンボジア人から、自分も中学校の運営に協力したい、という申し出が相次いでいるのです。

遺跡修復チームや博物館等でカンボジアの文化遺産を護る仕事に携わる専門家や技術者からは、バイヨン中学校で月に数回実施している特別授業で、自分の専門分野について講義をしたいという申し出がある。あるホテル経営者は教師1年分の交通費の寄付金を。また、副首相補佐官など、現在、カンボジア政府の要職に就いている仲間たちからも力強い応援が届くようになりました。

カンボジアで大きな事業を展開しているわけではない。カンボジア人が、自分の土地を国に寄付し、日本の支援者から寄付金や助成金など資金を集め、村に中学校を

創設したこと、さらに、今までにないユニークな学校を運営しようとしていることが、自国の未来を憂える同世代の心をとらえたようです。

私はこれまで、カンボジアの農村地域で、インフラ整備・教育・人材育成などの活動を、村の青年たちとともに続けてきました。NGO設立から10年近くとうとずる今、精神的な豊かさに満ち溢れたカンボジアの魅力を持しながら、加速度的に広がる都市部と農村部の格差を少しでも解消していくためには、志ある若いカンボジア人自らが、地道に行動を続けていくことが最も大切だと感じていたところでした。

このように、国内外から様々な支援と励ましを受け、学ぶ機会を与えられたバイヨン中学校の生徒たちには、将来、カンボジアのさらに貧しい地域を改善していく力となってほしい。そんな思いを抱きながら、次なる展開を模索する日々が続いています。